

令和 7 年度使用中学校用教科用図書（「教科名 国語」）の採択結果等について

広島大学附属三原中学校

種目	発行者	採択理由
国語	光村図書	○基礎・基本の定着に関わって 課題を発見し、解決する言葉の力を身につけるための学習の手引が工夫されている。身につける資質・能力を焦点化して図解で「見える化」しており、振り返り活動の中で活用しやすい。 ○主体的に学習に取り組む工夫に関わって 一人一人の興味・関心や課題に応じて自由に選択して活用できる QR コンテンツを多数収録している。CBT が QR コンテンツとして使用できるため、授業の導入場面だけでなく、家庭学習の中でも活用できる。 ○内容の構成・配列に関わって 「読むこと」に関わる教材と、「書くこと」に関わる教材、または「話すこと・聞くこと」に関わる教材がセットで単元構成されている。 古典単元は、古文、漢文と知識及び技能教材で構成されている。 ○内容の表現・表記に関わって 多数の二次元コードがあり、特に新出漢字覧に付された QR コンテンツ「漢字の練習」「漢字一覧表」は漢字の習得に役立つものである。 ○言語活動の充実に関わって 全領域に「学びのカギ」が設置されており、領域を超えた学びのつながりを意識しながら言語活動を行うことができる。 ○本校の研究に関わって 本校がこれまで取り組んできた、「問いづくり」の実践と重なる部分が多く見られる。